

プロジェクトサイトを訪問しました②

先月末から開始した各プロジェクトサイト訪問ですが、7月には、ハノイ市の2病院、ビンフック省、ドンナイ省、ディエンビエン省を訪問し、プロジェクトに関する情報収集をしました。

7月6日 バックマイメディカルカレッジ （ハノイ市）

バックマイメディカルカレッジは、ベトナム国内最大の総合病院の一つであるバックマイ病院の敷地内にあります。同じ敷地内には、医療研修センターや研究施設もあり、教育に適した環境にあります。学内で使用している分厚いカリキュラムを一部見せていただきました。66の看護技術チェックリストを用いて、トレーニングをしており、実習室には各項目の手順が印刷されてタピストリーのように吊り下げられていました。実習室はシミュレーションができる部屋もあり、基礎教育の中で看護技術の習得に重点を置いていることがうかがえました。そして、看護師の臨床研修について意見交換では、教員の看護教育に対する熱い思いを伺えました。



実習室の物品

7月13日 ビンフック省保健局 （ビンフック省）



保健局の建物

ビンフック省保健局はハノイ市から車で2時間くらいのところにあります。保健局は、保健省の下位組織で省レベルでの保健医療に関する行政機関で、地域の医療機関や医療従事者の管理、地域の健康増進や疾病予防を担っています。

ベトナムでは保健局の看護担当者がベトナム看護協会支部の責任者を兼任していることが多く、ビンフック省は男性の看護課長が看護協会支部の責任者でした。彼は、ビンフック省での看護師の能力強化を目指していると話していました。

7月20日 ロングカイン郡病院 （ドンナイ省）

ロングカイン郡病院は最近建物ができたばかりの新しい病院です。ベトナムの病院は診療科ごとに建物が建てられていることが多いのですが、こちらの病院は日本の病院と同じように大きな建物が1つ立っていました。郡病院ですが、見学させてもらったICUには、ほとんどのベッドにベッドサイドモニタが設置してあるなど、医療機器が充実しているのが印象的です。



病院の建物

ICUで9か月の臨床研修を実施した看護師の記録を見せていただくと、毎日経験したこと、何ができたのかがぎっしりとノートに書き込まれていました。これから新卒看護師臨床研修の枠組みを作り上げていくところですが、このように、今まさにそれぞれの場所で実践されている研修のノウハウを集約しながら、ベトナム全国で実施できる研修体制を作り上げるよう、協力していきたいと考えています。

7月28日 タインスウンコミュニケーションヘルスセンター （ディエンビエン省）

ベトナムの地方自治体の最小単位であるコミューンにあるコミュニケーションヘルスセンターは、一次医療に加え、コミュニティレベルで住民に母子保健や予防接種、健康教育など、予防活動や国家プログラム、プライマリーヘルスケアを提供、実施する施設です。

地域の住民約7600人に対して、医師は非常勤で1名、アシスタントドクター（2年課程卒業）が6名、看護師は1名とスタッフは全8名でした。センター内には診察室、分娩室、健康教室を実施する部屋等があり、栄養や衛生に関するポスターが沢山貼ってありました。敷地内には伝統薬草の畑があり、薬草は必要に応じて患者に処方するそうです。各スタッフが、地域を分担していたり、国家プログラムを分担していたり、センター内での保健医療サービスの提供だけでなく、村の集会で衛生教育をするなど、担当地域に出向いて仕事をしているということでした。プロジェクトではこのような地域の保健医療サービスを支える人材となりうる新卒看護師が、地域に根差した活動ができるような能力を身につけられるように支援していきます。



診察室



伝統薬草畑のグアバの木



センターの建物（2階建て）